

あるいて、つないで、みちになる。

～ ぼくらのみちのく潮風トレイル、三陸沿岸 700 km～

提案・企画

福興会議

(東北芸術工科大学 宮本研究室)

担当

小松 大知 (東北芸術工科大学 プロダクトデザイン学科 3年)

佐藤 亨 (東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 3年)

みちのく潮風トレイルとは

青森県八戸市から福島県相馬市までの海岸線、約 700km におよぶトレイルコースです。

トレイルとは森林や里山、集落などを通る「歩くための道」のことです。

やませや津波などの自然の脅威、その地域に根ざした特有の文化、地元住民の温かなもてなしや「人と自然」「人と人とのつながり」を感じることができます。

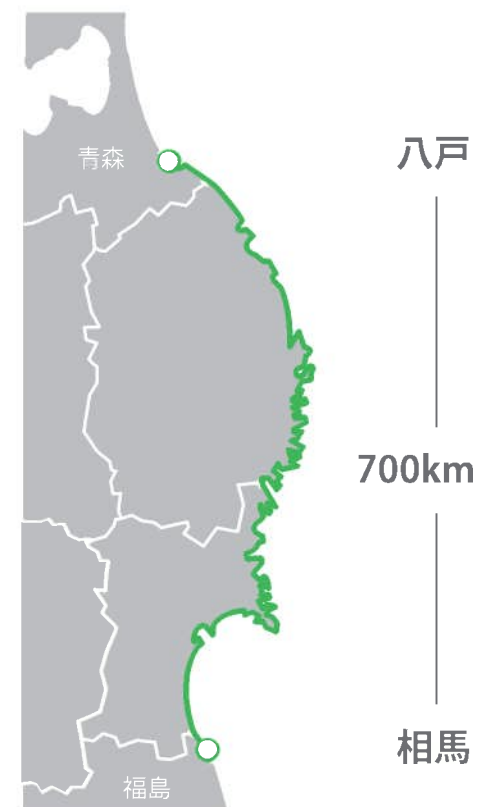
みちのく潮風トレイルは、環境省が東日本大震災からの復興に資するために策定した「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」のプロジェクトの一つです。

企画概要

東北芸術工科大学の復興会議メンバーが中心となり、全国から集まった 10 人の学生らと共に

実際に 700km の道のりを約 23 日間で歩きます。

そのなかで、東北沿岸部地域の復興状況や、海岸線の美しさ、食や文化、人との出会いの楽しみを、学生の視点や感性で皆さまにお伝えしていきます。



復興会議とは？

復興会議とは、東日本大震災発生直後の2011年3月14日、東北芸術工科大学の学生会館で自然発生的に行われた学生集会で組織された復興ボランティア団体です。

主な活動として、山形市と石巻市を結ぶ日帰りボランティアバス「スマイルエンジン山形」の運行、自主避難家族への交流と教育支援活動として「福しまピクニック+ふくしま図案室」の開催、復興の歩みを紹介する「ゼンシンラジオ」の放送などを行ってきました。



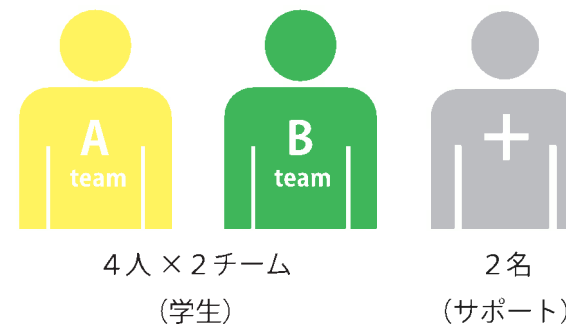
いつ、どのように歩くのか？

*8月20日～9月12日の間の23日間。

*復興会議のメンバーを含めた、計10人の学生が5人2チームに別れます。

*八戸から南下するチームと、相馬から北上するチームでそれぞれ350kmを踏破します。

*10人中、各チームに車両1台ずつ、1名のサポートが進行・救援の補助を行います。



ミッション

潮風トレイルの魅力地元地域だけではなく、全国に向けて発信し、トレイルや東北に関心の薄い人達に対してアピールしていきます。

風景、食、歴史・文化、復興状況、人との出会いの5つを軸に、単に観光地を巡るだけではなく、ガイドブックには載らない魅力を発見し、ありのままの東北の様子をお伝えします。

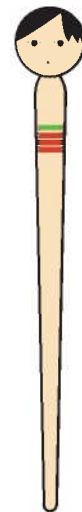
発信方法

- 1) ソーシャルメディア、Web、youtube など
- 2) 新聞などの紙媒体

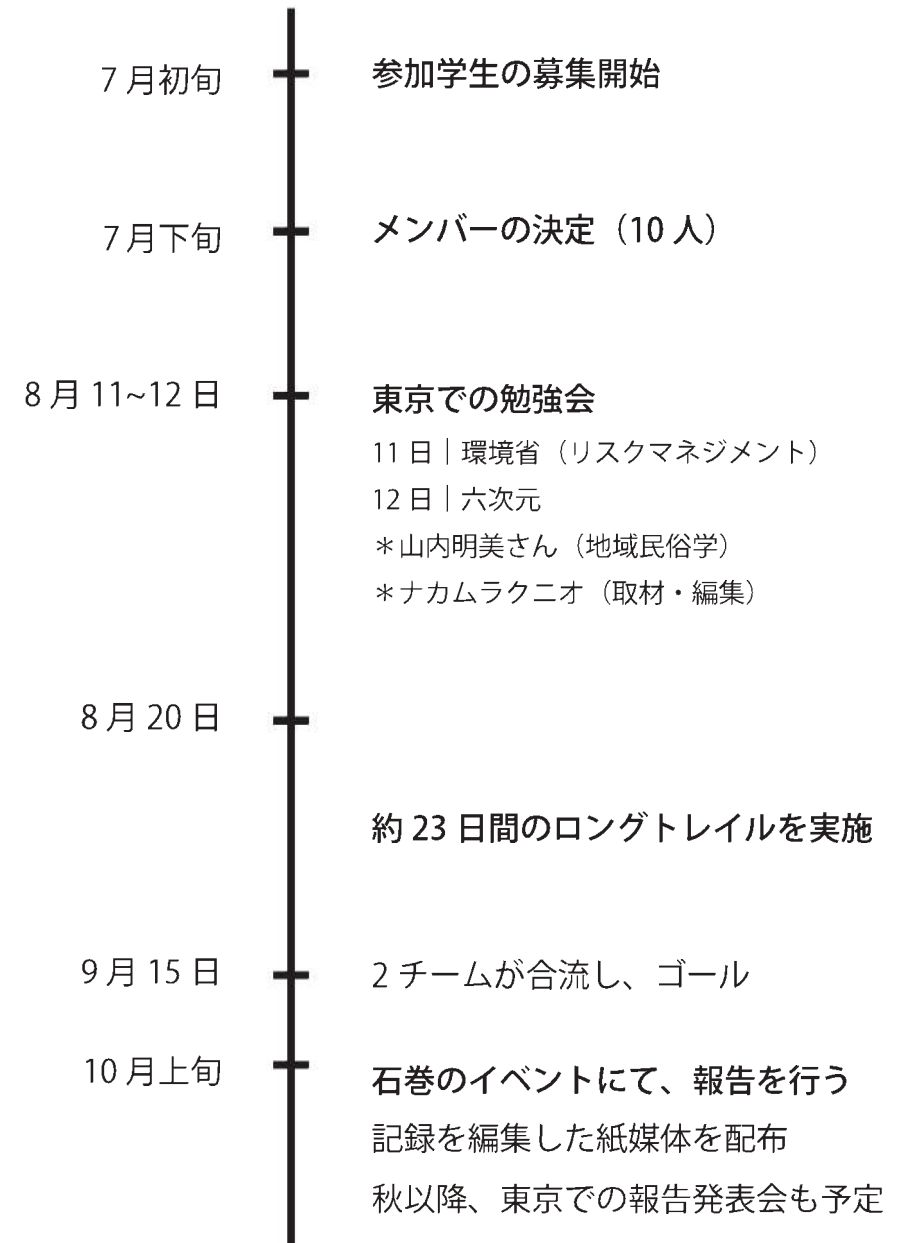
得た情報を編集・記録し次年度以降の事業にリアルな情報を提供する。

企画とオリジナルグッズの提案

- 1) 700人の言葉を繋ぐ写真
→出会った地域住人の方の写真と、言葉を700人分集めて配信していく。
- 2) こけしの杖
→持ち手の先端がこけしになっているオリジナル杖。
トレイルを歩く学生チームであることを一目で分かるグッズであると同時に、トレイル用の杖にもなる。
(こけしの顔はそれぞれ10人の顔)



スケジュール



事前勉強会について

8月11日（月）、12日（火）の2日間、東京を会場にトレイルに必要な事前勉強会を開きます。
トレイルに必要なリスク管理の方法や、現地情報、地域文化の読み解き方や、情報発信の方法などを学びます。

開催場所（東京）

- * 環境省 新宿御苑インフォメーションセンター
- * ブックカフェ「6次元」

講師とテーマ

- * 環境省の方々 11日 | トレイルの歩き方とリスク管理
- * ナカムラクニオさん 12日 | 編集と情報発信
- * 山内明美さん 12日 | 地域文化の読み解き方



ナカムラクニオ

1971年東京生まれ。荻窪にあるブックカフェ「6次元」店主。フリーランスで美術や旅番組などのディレクターとして番組制作に携わり、これまでに訪れた国は40ヶ国以上。著書に『人が集まる「つなぎ場」のつくり方～都市型茶室「6次元」の発想とは』（阪急コミュニケーションズ）がある。

6次元
<http://www.6jigen.com>



山内明美

宮城県南三陸町生まれ。
大正大学人間学部特命准教授。「NPO東北開墾」の理事をつとめる。
東日本大震災をきっかけに宮城大学の特任調査員として地元・南三陸の復興支援、現地調査に取り組む。2013年より現職に就任。
著書に「こども東北学」がある。

<http://akemi.da-te.jp>

最後に

私たちと一緒に、ぜひ東北沿岸を自分の足で歩いてみませんか。

700kmの中には想像もつかない出会いや奇跡が待っています。

それらはきっと、自分の中の伝説的な体験になるはずです。

また、地域のみなさま、企業・団体の方々も

ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

提案・企画者

小松 大知（東北芸術工科大学 プロダクトデザイン学科 3年）

佐藤 亨（東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 3年）

参加希望の方へ

*トレイルに関するの装備の一部

*23日間の宿泊費および勉強会などの交通費

の上記2つに関してはこちらで負担致します。

アクシデントに対するリスク管理講習会なども東京で開催します。

また、参加には「保護者の同意書」と「参加者の同意書」が必要となります。

企画へのお問い合わせ

東北芸術工科大学 東北復興支援機構（TRSO）

TEL：023-627-2218

FAX：023-627-2081

E-mail：y-gakusha@aga.tuad.ac.jp

URL：http://gs.tuad.ac.jp/trso/

学生へのお問い合わせ

小松 大知（東北芸術工科大学 プロダクトデザイン学科 3年）

E-mail：daichikoma2@gmail.com

主催 | 環境省

主管 | 電通 + 東北芸術工科大学 福興会議